

六会地区 人口: 37,384人 世帯数: 17,401世帯 (令和8年2月1日現在)

落語鑑賞会

令和8年1月24日(土)
場所: 六会市民センター3階ホール
参加人数: 78名



晴天に恵まれた1月24日(土)に、事前に参加申し込みのあった多くの皆様の参加を得て、新春恒例の落語鑑賞会を開催しました。受付開始前から来場される方の姿も見られ、会場は開演前から期待感に包まれていました。

今年も昨年度に続き、落語家の三代目・桂藤兵衛さんと紙切りの林家楽一さんをお招きして日本の伝統芸をたっぷりと披露していただきました。

桂藤兵衛さんの演目は、古典落語に欠かす事の出来ない人物である「泥棒」の噺と今年の干支「午年」にあやかって役者が馬の役を演じる「武助馬(ぶすけうま)」の噺を演じていただきました。いずれの噺も巧みな話術によって生み出されるユーモアや人間ドラマに、参加者はあっという間に落語の世界に引き込まれて、爆笑と感銘に包まれました。

林家楽一さんは、一枚の紙と鋏を手に、会場からの注文に応じて、瞬時に作品を切り抜く即興の紙切り芸を披露。会場からの注文は、「午」、「国宝」「忍者」、「大谷選手」等多種多様なリクエスト。最後には、参加者の似顔絵を絶妙の話術とともに仕上げ会場から大きな拍手が送られました。

笑いに包まれた楽しいひとときをお届けすることができました。



福祉講演会

(六会市民センター共催)

令和8年2月7日(土)
場所: 六会市民センター3階ホール
参加人数: 67名



「大人になって出会う絵本の魅力」と題し、帝京短期大学こども教育学科学科長の杉本眞理子先生にご講演いただきました。当日は朝から小雪の舞う寒い一日となりましたが、若い方からご年配の方まで多くの皆様にご参加いただきました。

今回は、参加型の講演会とし、4~5人ずつ16グループに分かれて受講していただきました。

先生は表紙に大きなバツタが堂々と描かれている「とべバツタ」の絵本を手にして、『子どもは文字が読めないなので私が読みます。皆様は文字を読まないで、しっかりと絵を眺め、絵を読んで下さい。』と話され、ゆっくりと優しく読まれた後、『どのようなことを感じ、読み取られましたか?どのように読むかは、読む人の人生経験や抱えている問題、感性の鋭さによって違います。』とお話いただきました。

その後、各グループで絵本を読み、感じたことを語り合いました。数名の方の感想には先生が丁寧に解説を加えられ、会場は温かな学びの空気に包まれました。

最後に『作者の絵本に込めたメッセージ、思い、潜ませた仕掛け、工夫を探ってみましょう』との言葉で締めくくられました。

お帰りの際に参加者から「是非、来年も開催を！シリーズで開催を！心がポカポカして帰れます！」など声をかけて頂きました。また、小学校で20年ほど読み聞かせをしている方から、「そろそろ辞めようと思っていたが、講演を聞いて自分のためにもいろいろな絵本に出会いたい」と感想をいただきました。

令和7年度の主な事業

賛助会員の紹介
(順不同、敬称略)

個人：
・杉山良夫
・小林雄一

ありがとうございました

賛助会費合計
12,000円

日付	事業内容
5月 21日(水)	春のお楽しみ会
6月 20日(金)	ふれあいの集い
7月 22日(火)	体験学習会
9月 初旬	敬老事業(お祝い品配布)
9月 24日(水)	第18回ふれあいグラウンドゴルフ大会 (六会市民センター主催、ゆめクラブと協賛協力)
10月 18日(土) 19日(日)	第46回六会ふるさとまつり
10月 29日(水)	秋のお楽しみ会
11月 18日(火)	ボランティア研修
R8.1月 24日(土)	落語鑑賞会
2月 7日(土)	福祉講演会(六会市民センター共催)

ボランティアセンターむつあい

「ボランティアセンターむつあい」では、六会地区の皆様のごちょっとしたお手伝いをしています。お気軽にお問い合わせください。またボランティアセンター内の「憩いの広場」はどなたでも自由に利用できます。無料で飲み物を提供していますので、ぜひお立ち寄りください。

ボランティアセンターむつあい： ☎ 0466-61-6211

月・水・金 9時～12時、13時～15時

♥ 車いす等の貸し出し ♥

六会地区にお住まいの方に車いすを無料で貸し出しています。

また六会地区の自治会・町内会等の各種団体にポップコーン機、わたがし機、カラオケ機も貸し出していますので是非ご利用ください。

問い合わせ：

六会市民センター福祉窓口・地域づくり担当

☎ 0466-81-6677 (受付：平日 8:30～17:00)

石川分館福祉窓口

☎ 0466-88-5600 (受付：平日 8:30～17:00)



編集後記： 本号で今年度三回目の「社協だより」をお届けすることができました。一年を振り返ると、行事や活動を通じて多くの出会いがあり、地域のつながりの大切さを改めて感じる一年となりました。地域の皆さまや関係者のご理解とご協力に、心より感謝申し上げます。来年度も、引き続きよろしく願いいたします。

編集委員： 佐久間茂 小林雄一 佐藤建文 佐川俊夫 川島啓史